新・十日町市誕生 2005年［平成17年］

◎開庁式

◎コモ市親善使節団を迎えての式典

◎U20日本代表候補キャンプ

◎川西有機センター完成式

◎田口市長初登庁

◎10回目の石彫シンポジウム開催

4月
- ●新・十日町市誕生
- ●ゆくら妻有火災からの復旧オープン

5月
- ●市長選挙（田口直人氏当選）
- ●市議会議員選挙
- ●高機能消防指令センター運用開始

6月
- ●6・28集中豪雨災害発生

7月
- ●川西有機センター運用開始
- ●十日町・コモ姉妹都市提携30周年記念式典
- ●10周年となる十日町石彫シンポジウム開催

8月
- ●市内各地域で地域協議会が発足
- ●市の木がブナに、花がユリに決定

10月
- ●新十日町市観光協会発足

市民一人ひとりに優しいきめ細かな市政を願っています。

合併の5年ほど前から、各市町村で話し合いや集落ごとの説明会などが重ねられ、おおよその枠組みが決まり、2004年4月に法定協議会が設置されました。そこで合併に関するさまざまなことを協議しました。新市の名称は、それぞれの地域や業界の思いもあり、難航しましたね。公募で千近くの案が集まり、最終的な2案は「十日町」と「美雪」でした。合併前も後も確かに摩擦はありましたが、当時の私は、大局的に見て将来的には住民のほとんどが「よかった」と思えるようになる。また、そうしていかなくてはいけないと考えていました。合併から10年。市民一人ひとりに優しいきめ細かな市政を願っています。

旧中里村村長／合併当初の市長職務執行者
山本 茂穂さん（桂）

The new Tokamachi City was born out of many hopes and wishes. It is my wish to maintain a municipal government that is kind and caring to each one of our citizens.

The late **Shigeo Yamamoto**
Village mayor, former Nakasato Village. The executor of mayoral duties at the time of the municipal merger

新十日町市在诞生过程中交织着人们的各种各样的想法。私希望在今后的市政中也应该细心考虑到每一个市民的切身利益和需求。

原中里村村长／合并时的市长代理
山本茂穂

※山本茂穂さんは9月21日に逝去されました

第3回大地の芸術祭開催 2006年［平成18年］

◎第3回大地の芸術祭開催（福武ハウス）

◎松代商店街の豪雪の様子

◎大貝トンネル開通

◎高円宮妃殿下ミティラー美術館ご視察

◎新日本様式100選に選ばれた光の館

◎千手中央コミュニティセンター開館

◎エフエムとおかまち開局

◎新築した中里なかよし保育園

1月
- ●平成18年豪雪（豪雪災害対策本部設置）
- ●エフエムとおかまち開局

3月
- ●貝野保育園・倉俣保育園閉園

4月
- ●千手中央コミュニティセンター開館・賑わい空間開設
- ●十日町市行政創造プラン策定
- ●農業元気センター開設（～'09年）

5月
- ●大貝トンネル・白倉大橋開通

6月
- ●千年—池尻間大橋開通
- ●十日町市総合計画・基本構想策定

7月
- ●第3回大地の芸術祭開幕
- ●高円宮妃殿下ご視察

10月
- ●市役所本町分庁舎開庁（～'15年）
- ●中里なかよし保育園開園（中里保育園・南保育園閉園）
- ●中里支所新庁舎開庁
- ●十日町市スポーツ健康都市宣言
- ●「光の館」新日本様式100選に選定

より多くの人に必要とされ愛されるラジオを目指しています。

エフエムとおかまちは、県内では10局目、全国では188局目に開局したコミュニティFM局です。私は、立ち上げから参加しています。きっかけは、中越大震災。当時、介護福祉士として中里の病院に勤めていました。地震発生時は配膳中で、入所者の皆さんと共に難を逃れ避難所へ。そのときラジオから聞こえてきたアナウンサーの声に、すごく励まされました。「十日町市に新しいFM局ができるならぜひ参加したい」「私もみんなに元気を与えられるようになりたい」、その思いが原点です。開局当初の愛称は、「ほっこりラジオ」。これからも地域の皆さんに必要とされ愛されるラジオでありたいです。

エフエムとおかまち
パーソナリティ
高野 綾子さん（稲荷町）

In the aftermath of the Chuetsu Earthquake, I felt strongly that I wanted to become a source of energy for the area. I got involved with the station right from the outset. FM Tokamachi aims to be radio station that is both loved and needed by many people.

Ayako Takano
Radio personality, FM Tokamachi

我怀着“为大家加油给力”的强烈愿望，加入了刚组建的FM广播电台。“FM与十日町”的目标是把我台建成为一个人们所需要的、所爱戴的广播电台。

“FM与十日町”节目制作主持
高野綾子

Tokamachi
2005 — 2015
写真と年表で振り返る
合併からの10年

むつみ幼稚園・保育園共用化 2007年［平成19年］

⊙十日町地域に7地域協議会設立

⊙共用化になった、むつみ保育園・幼稚園

⊙千寿さくら荘完成

⊙小貫開村式

⊙国宝出土25周年記念

⊙松葉沢ダム完成

⊙中越沖地震発生

⊙中越大震災・中越沖地震からの復興を祈念した「思う灯-GINGA」

- 3月
  - ●下条保育園閉園
  - ●野中小学校・中条小学校枯木又分校・倉俣小学校清田山冬季分校閉校
- 4月
  - ●十日町地域に7つの地域協議会が設立
  - ●川西高齢者コミュニティハウス「千寿さくら荘」完成
  - ●学校法人下条学園 むつみ幼稚園・むつみ保育園 共用化開始
- 7月
  - ●中越沖地震発生
- 8月
  - ●川西支所庁舎完成
- 9月
  - ●交通安全都市宣言
- 10月
  - ●松葉沢ダム完成
- 12月
  - ●核兵器廃絶平和都市宣言

⊙交通安全都市宣言

地域の皆さんが子どもたちを安心して預けられる場所であるために。

少子化という時代の流れや民間力の活用から、十日町市は保育園の在り方の見直しを進めました。下条とその周辺地域では子どもの数が少なく、保育園の存続が厳しい状況でした。さまざまな要素と住民の皆さんの強い要望があり、幼稚園と保育園が一緒になった「学校法人下条学園 むつみ幼稚園 むつみ保育園」がスタートしました。幼稚園は文部科学省管轄の「教育施設」、保育園は厚生労働省管轄の「福祉施設」と、目的や基準がまったく違うため問題は山積み。本当に大変でしたが、住民の皆さんの協力と理解を得ながら、「何事も子どもを中心に」を心がけて乗り切ることができました。

学校法人下条学園 むつみ幼稚園 むつみ保育園 元園長
大嶋 紘一さん（下条2）

The unison of Mutsumi Nursery School and Mutsumi Day Care Centre was brought about by difficult conditions, but by putting the children at the heart of everything we do, and with the understanding and cooperation of the local community, we were able to persevere through the difficulties we faced.

Koichi Oshima
Former Principal, Mutsumi Nursery School and Mutsumi Day Care Centre

我们的使命就是把“和睦幼儿园 和睦保育园”建成一个本地区的家长都能放心地把孩子托付给我们的保育设施。我们将永远不会忘记这个使命。

学校法人下条学园 和睦幼儿园 和睦保育园 原园长
大 島 紘 一

Tokamachi
2005 — 2015
写真と年表で振り返る
合併からの10年

雪国観光圏発足 2008年［平成20年］

⊙信越トレイル全線開通

⊙真田トンネル開通

⊙陶芸センターオープン

⊙国道353号松之山バイパス開通

⊙産業フェスタ初開催

⊙桜花レスリング道場で、北京オリンピック女子レスリング応援

⊙里山センター開設

⊙市民体育大会開催

- 3月
  - ●八箇小学校閉校
- 4月
  - ●真田トンネル開通
- 7月
  - ●里山センター開設（～'13年）
- 9月
  - ●信越トレイル全線開通
  - ●JR信濃川発電所 宮中取水ダムで不正取水発覚
- 10月
  - ●妻有焼陶芸センターオープン
  - ●雪国観光圏発足
- 11月
  - ●国道353号松之山バイパス 高館トンネル・布川大橋開通

十日町が持っている貴重な地域資源を雪国観光圏の宝としてアピール。

雪国観光圏は、新潟県魚沼市、南魚沼市、湯沢町、十日町市、津南町、群馬県みなかみ町、長野県栄村の3県7市町村にまたがる広域観光圏です。「雪国」「雪」をキーワードに、官民協働して地域特性を生かした観光とまちづくりの融合を目的に各種事業を実施。豪雪地ならではの伝統文化・食・風景・生活スタイルなど、一つずつでは埋もれてしまう地域資源を発掘し、つなぎあわせ、磨き上げることで世界に通用する価値を生み出すことを目指しています。十日町市には、信濃川がもたらし雪が育んだ、縄文からつながる独特の文化・風土があります。この宝を雪国観光圏全体の宝としてアピールしていきたいと思っています。

一般社団法人 雪国観光圏 専務理事
柳 一成さん（松之山湯本）

Tokamachi is blessed with a unique climate and culture nurtured by the snow and the Shinano River. I will continue to promote our valuable local resources as treasures of the whole snow country region.

Kazunari Yanagi
Senior Director, Snow Country Tourism Zone Association

十日町市拥有信浓川哺育的、冰雪培育的、源于绳文时代的独特文化和地方特色。我要把这些重要的资源做为整个雪国观光圈的一个宝贵财富发扬光大。

一般社团法人 雪国观光圈 专务理事
柳 一 成

地域おこし協力隊活動開始 2009年［平成21年］

◎まつだい郷土資料館開館

◎全国棚田サミット開催

◎吉田クロスカントリー競技場で、第64回国民体育大会冬季大会開催

◎交通空白地解消社会実験バス運行開始

◎関口市長初登庁

◎第4回大地の芸術祭開幕

◎国体デモンストレーション大会（ユニバーサルホッケー）

◎地域おこし協力隊初着任

1月
●にほんの里100選に松之山・松代が選定

2月
●第64回国民体育大会「トキめき新潟国体」冬季大会スキー競技会開催
●エフエム告知受信機（防災ラジオ）の配置開始

3月
●六箇小学校・東下組小学校・仙田小学校・清津峡小学校閉校
●仙田保育園閉園

4月
●市長選挙（関口芳史氏当選）
●市議会議員選挙

7月
●第4回大地の芸術祭開幕
●まつだい郷土資料館移築・リニューアル開館

9月
●地域おこし協力隊が市内で活動開始

10月
●第15回全国棚田（千枚田）サミット開催
●「トキめき新潟国体」デモンストレーション競技大会開催

11月
●交通空白地解消社会実験バス運行開始

全国から若者がどんどんやって来る、心温かい十日町市であり続けてほしい。

地域外の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を図っていくことを目的としている地域おこし協力隊。私は十日町市で3人目の隊員として、高道山地区の白羽毛集落などを担当しました。私はもちろん、住民の皆さんも初めてなので、最初は互いに恐る恐るという感じでした。できることを探すことからのスタート。集落の一軒一軒を自己紹介がてらお茶飲みをして回りました。あれから6年。協力隊も認知されて、住民の皆さんも戸惑いなく受け入れてくださいます。協力隊の移住率も定着率も良好とのこと。これからも若者がどんどんやって来る十日町市であってほしいですね。

平成21年度 地域おこし協力隊
中島 志野さん（山新田）

The number of people moving to Tokamachi City is increasing and the retention rate of Community-Reactivating Cooperator Squad" is also high. I hope that the Tokamachi City will continue to be a "kind-hearted city" that attracts young people from across Japan.

Shino Nakajima
Former Community-Reactivating Cooperator Squad, 2009.

移居十日町市的人不断增加，很多地域振兴协力队员也选择了定居在这里。我希望全国的青年人将络绎不绝地来到“热情好客的的十日町市”生活和工作。

2009財年 原地域振兴协力队
中 岛 志 野

八箇峠トンネル十日町市側掘削開始 2010年［平成22年］

◎八箇峠トンネル掘削開始

◎なでしこジャパン初来市

◎JR東日本との同意書に調印

◎子育て支援カード交付開始

◎温泉発電が始まった松之山温泉

◎和装教育始まる

3月
●JR東日本の信濃川水利使用許可申請の同意書に調印
●市内2か所にバイオディーゼル燃料給油設備を設置
●大地の芸術祭実行委員会が第7回オーライ！ニッポン大賞受賞

4月
●松之山温泉で全国初の温泉発電取組み始まる

7月
●十日町市エコポイント事業始まる

8月
●上越魚沼地域振興快速道路八箇峠トンネル十日町市側の掘削開始

9月
●十日町市小中一貫教育基本計画を承認

12月
●市総合計画後期基本計画策定

八箇峠道路の高規格化は八箇住民の夢、そして地域の発展を担う期待の星です。

八箇峠越えは古くから難所として知られ、1971年、十日町市と南魚沼市を結ぶ現在の国道253号線が開通するまでは、地滑りと異常降雪により幾度と無く道路やトンネルが崩壊し、人々の暮らしや経済活動に大きな影響を与えてきました。八箇峠道路の整備は、八箇の人々の昔からの夢であり、現在では、十日町・南魚沼の相互連携、関越自動車道・六日町ICへのアクセス強化によって地域の発展を担う期待の星でもあります。2014年10月に延長2840メートルの新トンネルが貫通。地域高規格道路、上越魚沼地域振興快速道路、八箇峠道路として、2017年の全線開通を目指し、現在も工事が進められています。

元 八箇振興会 会長
齋木 實さん（落之水）

Damages to the Hakkatoge Road caused by landslides and heavy snowfall have repeatedly caused disruptions to peoples lifestyles and the regional economy. The refurbishment of the road, scheduled for completion in 2017, has been the dream of the citizens of the Hakka district, and a shining hope for the region's development.

Minoru Saiki
Former Chairman, Hakka Reconstruction Committee

提高八个岭道路的规格是八个地区居民的一个长年夙愿，也是推进本地区经济发展的关键工程，预计将于2017年全线贯通，现在正出于紧锣密鼓的施工之中。

原八个振兴会 会长
斋 木 实

平成23年7月新潟・福島豪雨災害

2011年［平成23年］

- 3月
  - 長野県北部地震発生
  - ソニー㈱とCO2排出量削減国内クレジット譲渡契約に調印
- 4月
  - 小中一貫教育、モデル中学校区での試行開始
  - 十日町地域消防署しぶみ分署完成
- 7月
  - 平成23年7月新潟・福島豪雨災害発生
  - 十日町市節電エコポイント事業実施
- 8月
  - 国宝出土地の笹山遺跡で学術調査を開始

◎長野県北部地震発生

◎大きな被害をもたらした平成23年7月新潟・福島豪雨災害発生

◎モデル中学校区で小中一貫教育試行開始

◎県消防大会 消防団中里方面隊第4分団優勝

◎中国江陵市訪問

◎笹山遺跡学術調査開始

地域を守ろうという一心で、団一丸となって任務にあたりました。

7月27日から30日にかけて発生した集中豪雨は、市内にも甚大な被害をもたらしました。第二分団の管轄区域には、田川と晒川が流れていて、上流域から流れ込んできた濁流に襲われました。田川では沿川家屋の浸水、河岸の侵食による住宅基礎の流出、晒川では流木・土砂が橋梁部で堰き止められ氾濫、浸水・土砂堆積などの被害が発生しました。1時間雨量（121ミリメートル）は、市の観測史上最大。痛いほどの雨というのは初めての経験でした。消防署からの連絡を受け、団一丸となって、住民の避難誘導やパトロール、土のう積みなどを徹夜で続けました。幸い住民にケガなどはなかったのですが、とにかく後片付けが大変でしたね。

十日町市消防団十日町方面隊
第二分団 元分団長
岩田 広志さん（江道）

The torrential rainfall in the summer of 2011 was the heaviest ever recorded and resulted in immense damages throughout the city. We united as one in our duties to protect the region.

Hiroshi Iwata
Former Captain, Tokamachi Fire brigate Tokamachi District Brigade 2

2011年夏季的大暴雨給我市帶来了巨大損失。为了保护好家园，队员们全力以赴投入抢险救灾。

十日町市消防团十日町方面队第二分团 原团长
岩田广志

地域自治組織設立

2012年［平成24年］

- 1月
  - とおかまち流まちづくりの条例を考える会発足
- 3月
  - 市役所本庁に新築した車庫棟を防災拠点として整備
- 4月
  - クロステンリニューアルオープン
  - 地域自治組織による新しい自治の仕組みが始まる
- 7月
  - 越後妻有里山現代美術館［キナーレ］オープン
  - 第5回大地の芸術祭開幕
  - オーストラリア・ハウス再建
  - ジャパン・クロアチアフレンドシップハウス完成
- 11月
  - JR飯山線にSLが40年ぶりに運行
  - 国道253号池尻大橋・長者原橋開通

◎40年ぶりに運行したSL

◎クロステンリニューアルオープン

◎ジャパン・クロアチアフレンドシップハウス完成

◎とおかまち流まちづくりの条例を考える会発足

◎防災拠点となる車庫棟完成

地域自治組織は「協働のまちづくり」を支える大切な組織として活動しています。

合併後、地方自治法上の市の付属機関「地域協議会」が設置されました。一方で、各地域には合併以前から地域内の課題解決に取り組む「振興会」などがあり、地域協議会との違いや役割分担が見えないという声があがっていました。そこで「地域協議会のあり方検討部会」を立ち上げ、多方面から検討・協議を重ねた上で、13の「地域自治組織」と「地域自治推進事業交付金」がスタートしました。同組織は、「これからのまちづくりの主体であり、共に公共空間を支える重要なパートナー」と位置づけられ、地域の力を結集してそれぞれ地域の課題や独自の活性化事業に取り組んでいます。

地域自治組織連絡協議会 会長
村山 幸夫さん（川治中町）

The regional residents' committees act as crucial support organisations for Tokamachi City in its engagements with cooperative city development initiatives.

Yukio Murayama
Chairman, Regional Council Liaison Committee

地区自治组织是支援十日町市所开展工作之一“共建城市”的重要组织。

地域协议会联络会 会长
村山幸夫

Tokamachi
2005 — 2015
写真と年表で振り返る
合併からの10年

夢の学校（十日町小・ふれあいの丘特別支援学校・発達支援センター）開設 2013年［平成25年］

⊙清水の棚田復興田植え

⊙夢の学校開設の式典

⊙清津ピクニックコンサート初開催

⊙中尾の大杉クローン苗返還

⊙豪雪災害対策本部設置

⊙東京五輪でのレスリング競技実施決定

⊙十日町市カタログギフト販売

⊙県・市防災訓練実施

⊙最後となった真夏の笑い祭典

1月
- 駅西土地区画整理事業が完了

3月
- 浦田小学校閉校
- 橘保育園閉園

4月
- 十日町小学校・ふれあいの丘特別支援学校・発達支援センターが併設の夢の学校開設
- 市長選挙（関口芳史氏再選）
- 市議会議員選挙

6月
- 中心市街地活性化基本計画が国から認定
- 長野県北部地震で被災した清水の棚田が復旧し3年ぶりの田植え

9月
- 県・市防災訓練実施

11月
- 市道の除雪制度を全市統一

12月
- 十日町市高齢者憩いの家（天水越）開所

全国でも類を見ない「夢の学校」が十日町市にあることを誇りに思います。

「夢の学校」は、障がいのある子も障がいのない子も、一つの学舎の中で、相互に学び合い、認め合い、高め合うという「共生の理念」を柱にした新しいコンセプトの学校です。20年ほど前、十日町小学校の校舎を改築しようという声が上がりました。建物の話よりまずどんな学校にしたいかを子どもたちとのワークショップで話し合いました。そこからアイデアが生まれ、地域や保護者、学校や行政の皆さんの熱い思いを育み完成したのが、本当の意味での「共生教育」を実現する、全国でも類を見ない「夢の学校」です。一度校舎をのぞいてみてください。子どもたちを柱にした物理的な壁も心の壁もない正真正銘の「夢の学舎」が実現しています。

新校舎実現委員会 委員長
森本 忠彦さん（昭和町3）

"Yume-no-gakko" is a school where children with and without disability study beside each other, acknowledging and encouraging one another under one roof. We are proud to have a school as unique as "Yume-no-gakko" in Tokamachi City.

Tadahiko Morimoto
Chairman, New School House Implementation Committee

"梦想学校"是残疾儿童和正常儿童在同一所校园内相互学习、相互认同、相互提高的学校。这所日本唯一的"梦想学校"能建在十日町市，我们感到非常自豪。

新校舎实现委员会 委员长
森 本 忠 彦

Tokamachi
2005 — 2015
写真と年表で振り返る
合併からの10年

中心市街地活性化の取り組みが本格実施 2014－15年［平成26年－27年］

⊙初開催の越後妻有雪花火

⊙北越急行㈱の特急はくたか特急が廃止

⊙ソチ冬季オリンピック大会出場選手激励壮行会

⊙中越地震復興10年の節目として、NHKのど自慢開催

⊙JR十日町駅リニューアル

⊙越乃 Shu＊Kura運行開始

⊙本庁舎1階・保健センター改修

⊙十日町病院起工式

2月
- ソチ冬季オリンピックで市内出身3選手が奮闘
- なかさとアリーナ（中里体育館）がオープン

3月
- 越後妻有 雪花火を初開催
- 北原保育園閉園
- 孟地小学校・奴奈川小学校・松里小学校閉校
- 市役所本庁舎1階・保健センター改修完了

4月
- 定住促進助成事業を開始
- 市内全中学校区で小中一貫教育本格スタート

5月
- 中心市街地活性化基本計画事業民間施設整備着工

7月
- 本町西線全線開通

8月
- 吉田クロスカントリー競技場が、国際スキー連盟公認コースに認定

9月
- 十日町市まちづくり基本条例を制定
- 西本町土地区画整理事業完了

10月
- 17年ぶりに市内でNHKのど自慢開催

いろんな世代が気軽に集えるまちなかであり、憩いの場にしたい。

「いこて」は、中心市街地活性化事業の中核施設で、民間事業者が取り組む第1号です。中越地震で損壊した旧娯楽会館の跡地を活用。設計は「森の学校キョロロ」を手掛けた手塚貴晴さん由比さん夫妻が担当しました。地元の役に立つ仕事をしたいと思っていたところに話をいただき、「いこて」の企画・経営に携わることになりました。1階は県内の地酒と地元料理を楽しめるカフェ&日本酒バー、2階は多目的に利用できるコミュニティスペースになっています。「いこて」は、「行こうよ」「いいね」を意味するこの地方の方言。いろんな世代が集まる憩いの場になって、まちなかのにぎわいをつくりたいですね。

十日町産業文化発信館「いこて」マネージャー／Café & Sake bar inishie alata（カフェ・バー・イニシエ・アラタ）女将
藤田 真理子さん（本町5）

My wish was to make "Ikote" a place of relaxation for people of all generations. I also wanted to bring an excitement to the city centre. We house a café which offers locally produced cuisine and sake, and also, a multifunctional community space.

Mariko Fujita
Manager, Ikote Tokamachi Industrial and Cultural Hall / Owner, Café & Sake Bar Inishie Alata

把十日町产业文化发信馆"YKOTE"建成各年龄层的人都能轻松欢聚的场所，让中心市区欣欣向荣。

十日町产业文化发信馆"YKOTE"管理人
Café & Sake bar inishie alata 经理
藤 田 真理子